

# ホンシメジ「福島H106号」の紹介

福島県農業振興課  
平成28年11月

## 1 特長

- 福島県中通り地方におけるきのこ（子実体）収穫期は通常10月下旬から11月上旬。
- 子実体の形質は大型秀麗で、傘表面は灰褐色、軸は白色できわめてきれい。
- 子実体の発生方法はパイプハウスを使用した自然発生であり、特別な技術を必要としない。
- 収穫量は菌床（1.5Kg）1個当たり平均170g程度が期待できる。発生環境により、220g程度の収穫も可能である。空調栽培も可能。
- 自然発生により確実な収穫を期待できる国内唯一のホンシメジ品種である。

## 2 育成経過

- 平成10年 福島県内各地からホンシメジを収集し、子実体からの組織分離による系統収集開始
- 平成11年 採取系統及びそれらの継代培養後の子実体形成能力試験に供試
- 平成14年 低コストである自然環境下での覆土発生方式に適合する系統の選抜開始
- 平成26年 安定して子実体を形成し、収量性に優れ、かつ低コストで栽培可能な「福島H106号」を選抜

